

求める会ニュース No. 915

3月全体会報告

3月16日(水) 10:00~12:00

【検討事項】

- 1、総会 4月28日(木) 昼食について
 例年、会員が手分けして作っていたが遠方、高齢化、時間がかかるなどの意見もあり、全体会出席者の賛同を得て、今回はセンターのサロン室でお店を出している「ロココ」さんに、求める会の材料を使ってあろしぜしを依頼することになった。
- ・来年度世話人募集中(3月16日まで)
 一名の応募があった。あとは未定。
- 2、来年度活動予算案
- ①YMCA 講座からの企画を実施
 YMCA 講座に参加していたが、勉強会で企画されたものを求める会でも実行したい。例えば人気のある料理人が講師の料理教室を開き、事業部の品物、有機野菜も販売し、食の大切さを話し合う。入会につながることで、改めて一から企画を立ててやってみたいの思いです。有機農業が日本で広がってほしい。そのためには「提携」が大切である。「地産地消」を知ってもらい「提携」あってこそ安心して農業ができることを知ってもらう。そのためには活動費が必要。(金額は未定)
- ②ホームページ、フェイスブック、携帯メールなどの活用講座
 求める会のホームページを作ったが十分に活用されていない。誰でもが参加できるようなレクチャーを持ちたい。
- 3、総会資料 活動報告案と活動計画案
- 4、財務検討委員会報告、質疑及び検討、今後の進め方: 委員会の報告で今後の会員数、財務の報告を受けたが、今後の事は未定であり結論を急がず、今後の方針を考える場を設けたい。
- ③援農、交流、市島の圃場見学と他を組み合わせたバス旅行
 年齢的な事もあり援農は難しくなったが、バスで圃場見学、奥丹波の生産者訪問、鹿肉料理、温泉等を考えている。

理、温泉等を考えている。

【報告事項】

《生産者担当》

- ・野菜: 3月末から端境期に入る。葉物もトウが立ち始めた。葱、人参はたくさんある。端境期に徳之島のじゃが芋、太田さんの葉玉葱が入る。赤シソは丹南実践会から取ります。大谷さんは時期は遅れますが、作られます。
- ・卵: ヒナを入れたので卵小(2個)を出荷しています。3月の産卵が先方の都合でできなくなり、4月に橋本さん、大谷さんの産卵あり。
- ・果物: 雑柑の5回目に八朔が入りました。びわが寒波にやられ収穫が少ない。

《会員担当》

1名入会。会員数238名

《事業部》

- ・全体会後の即売は有機こんにやく、干し椎茸、生椎茸、煮干し、殻付き干海老、いかなごのくぎ煮、ちりめんじゃこ。
- ・古本市開催のため、3~4月のセミナー後の即売はお休みします。

《広報》印刷日: 3月30日、4月13日(水)

《学習研究部担当》

全体会の後、小松さんとの昼食会、2時から一色さんの「市島農業」のお話があります。

《会計》

会計監査: 4月4日(月) 10時~

《渉外庶務》

- ・3月17日(木) 日本有機農業研究会企画「枚方食品公害と健康を考える会」の生産者圃場見学、埼玉大、京都大、神戸学院大と参加。希望者は大野まで。
- ・青空市と「食卓のそばに」ワークショップ(谷口さん主催) 甲子園口。毎月第3土曜日。今回は4月16日
- ・YMCA 講座「活動を担う担い手・リーダーの育成・養成のワークショップ」希望者は飛田、大野まで。(日時未定)
- ・兵庫県有機農業研究会報告 6月堤未果さん

の講演会

☆児玉さんが娘さんと参加されました。少しお疲れのようでしたが、お元気な姿を見せていただいて、安心しました。

《お知らせ》

- ・第4回兵庫県学校食育研究会 3月25日
(金) 県民会館303号室
- ・ビレッジライフ懇話会：3月26日(土) 午後3時～、「生活協同組合に生涯をかけて」組合

員の願いとともに」元コープこうべ常務 秦正男氏

- ・部会 4月6日(水)
- ・総会資料印刷 4月7日(木)
- ・食料環境セミナー 4月27日(水) 10:30～12:00 「資本主義から農本主義者へ・農は天地の浮かぶ大きな舟なんだ。農と自然の研究所
元代表 宇根 豊さん
- ・総会 4月28日(木)

小松さんをお迎えして

全体会のあと、小松さんを囲んでの昼食会を持ちました。小松さんは前日まで風邪をひかれて声が出なかったそうで、遠い神戸まで来て下さり申し訳ないです。風邪のせいか、いつもほどお話しはされませんでした。でもいつものムードでとつとつとお話し下さいました。開口一番、「今日もすごいお料理ですね」まっ、なんと嬉しいお言葉。ご持参のジュースを頂きながら、りんごの事、近況などを聞きました。



去年の夏は日照りが続き、りんごは小玉だったがその後天候も落ち着き、春先には温度も上がり味もよくなり、例年の物が出来たそうです。今年から肥料に茶葉を入れ土壌を整えたそうです。また暖かくなると土の中で根が動き、急に寒くなると土が割れて根が割れて弱ったり、腐ったり、枯れたりするそうです。また割れた所が地表に出ると根も甘いのでネズミが根をかじり腐らせてしまうこともあるそうです、消毒薬を使わないので炭の粉を入れてばい菌の繁殖を防ぐのだそうです。

美味しいりんごの見分け方も教えて頂きました。りんごのつるは細い方が美味しい物が出来る。太いつるは窒素過多になるから。皮がざらざらの方が栄養が入って美味しい。つるつるのは窒素過多です。(人間と反対ですね) 軸枝のついている方のくぼみが大きい方が美味しい。りんごのお尻(軸枝と反対の方)が飴色になった時が食べごろで、青いのは後に残して食べた方が良い。近年はミツバチが減少して(ネオニコチノイド系農薬?) 蜂による受粉が難しくなってきた。風などによる自然受粉が多くなると受粉が充分でなくなり、いびつな形の物が出来やすい。りんごを輪切りにして種の状態をみると、右左の状態がよくわかる、しっかり種がある方は受粉が充分なので美味しい。(どちらをとりますか?) などとりんごを輪切りにして試食し「本当だ!」と歓声をあげ賑やかな席になりました。

「12月のかぼちゃの味は如何でしたか」と聞かれ「美味しかった」の声に安心されたようです。

「安曇野は野菜も果物もなんでも良く出来る所です」とのこと。安曇野の美しい景色が目には浮かびます。また、なんと小松さんはあまりりんごを召し上がらないそうで、「もっと健康のためにも食べて下さい」との声もありました。

あっという間に時間が過ぎてしまいました。小松さんはいつも夜間に車を運転して、朝方に神戸に来られるそうで、それも心配の一つです。出来たら運転しないで来て頂きたいとの声もありました。いつまでもお元気でいて欲しい。そしてまたお目にかかりたいと思っています。

(都由乃町 G 花岡 桂子)

2016年冬の地域集会報告

【中地区＝東灘・灘・中央・兵庫・長田】

日時：3月12日（土）10：00～12：00 会場：神戸学生青年センター

出席者（19名） 生産者＝橋本夫妻

求める会＝大野（松浜）、猪飼（川西）明松・花岡・福島（都由乃町）、今井・岡（西山）、岡部・茂松・松島・宮村（センター）、飛田・小浦（鶴甲団地）、佐藤（住吉台）、福本（本一）、山崎（赤松町）、吉川（青谷）

橋本さんご夫妻の畑の話から。野菜はトウ立ちが始まり、大根・ネギは打ち止め。ニンジンは大豊作！大きく育ち、袋詰めが終わった時点でパキッと割れることも。時期をずらして三度の植え付けをしたのに一時に出来てしまった。太陽熱を利用し、夏に土を消毒するようになってニンジン、菊菜等の発芽率が向上。土がリセットされてきたので（7年目）スナップエンドウも今年ぐらいから出来るかな？鶏は11月から頼んでいたひながやっと今月入荷。小規模の購入が難しく時間がかかった。

慶子さんから、六次産業化法が中小農家向けにあり、この認定が取ればと、県と相談中。ピーク時、大量の野菜を冷凍保存、ドライ野菜などにすれば無駄にしないで済み、端境期対策にもなる。“妄想”は膨らみますが具体的にはまだまだ、とのことでした。うまくいくと良いな。

大豊作の水菜の調理方法は？ちぢみ・お好み焼き・マスタード入りお浸し。トウ立ち菜の花は栄養が凝縮、ほろ苦さを愉しんで炒め物、煮びたしに。ニンジンは茹でて冷凍保存。残り野菜で、あんかけを作り置き。菜の花を花瓶に挿して愛でています、等々。

橋本さんご夫妻から、また皆さまからも色々なお話を聞くことができ、干し柿、小豆入りケーキの美味しい差し入れもあり、楽しい集まりでした。今回参加出来なかった方も次回には是非ご参加を！

（センターG 岡部 真理子）

一色さんを囲んで市島の農業の話を行いました

3月16日、全体会終了後、午後2時から、市有研の一色富士夫さんを囲んでお話を聞きました。

「市島は日本海気候で、冬はしごれる。10月いっぱいまでにトラクターで畝立てをするが、種まきはできない。11～2月は農作業ができない。太陽熱マルチ（透明のビニールシートを畝に張り、積算温度が800℃になれば雑菌が死ぬ）を取り入れてから雑草は心配しなくてよくなった。大根の害虫は一度出たらずっといるし、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーは青虫、夜盗虫、コナガが付く。黒マルチシートを張って白菜を植えたら2割まで抑えられた。去年、防風ネットをアーチにしてトンネルを作りキャベツを栽培したら、虫食いの無いキャベツができた。その代り、資材が要る。

有機農業は体を動かしてなんぼのものだが、このようにいろいろ工夫して、だいぶ楽になった。

市島には特産品は根付かないと言われている。特産品が無い地域には後継者が育たない。後継者がいない代わり、新規就農者がやってきた。少しでも若い人に来てほしいが、なかなか根付かない。

集中豪雨は毎年来るようになった。2回来ると排水が追いつかず、ピーマン、万願寺は根腐れしてしまった。これからも覚悟しないといけない。猪、鹿はいくら電気柵をしても入ってくる。

秋野菜は白菜、キャベツは不作だったが、菜っ葉類はよくできた。大コンテナには5種類、小コンテナには3種類入れるようになってきているが、ミズナかキクナだと、作りやすく取量の多いミズナを出すことになる。A、Bのコンテナを作って、毎回同じものが入らないようにしてはどうかと提案しているが、生産者ごとにやり方が違うので、押しつけはできない。提携は大事にしていきたい。誰かがだめでも誰かが出せるように、小量多品目でやっていきたいし、少しでも消費者の希望に添えるように工夫をしていきたい。

農業に対する一色さんの思いを聞くことができ、いい時間を持つことができました。（逆瀬川G 今田 裕子）

4月のカレンダー

- 4月 4日 (月) 会計監査
- 4月 6日 (水) 部会
- 4月 7日 (木) 総会資料印刷
- 4月 13日 (水) ニュース印刷
- 4月 20日 (水) 自動引落日
共同購入申込締切日
- 4月 27日 (水) 食料環境セミナー
- 4月 28日 (木) 総会

4月の全体会はありません



りんごの追加申込は終了しました。たくさん
の申込ありがとうございました。5月か
らはりんごジュースを取り扱います。

谷口さんの「食卓のそばに」
～旬の食材と食卓をつなぐワークショップ～

4月16日(土) JR 甲子園口下車数分
10:30～12:30が幹事で、その後「手間暇かけな
くても美味しいお袋の味、家庭の味」をシェアし
ながらのフリートーク。一品持ち寄りです。昆布
のダシがきいたうどんも出ます。

参加できる方は、待ち合わせしますので大野ま
でご連絡ください。(090-8750-5166)

2016年度 総会のご案内

日時：4月28日(木) 10:30～14:00

会場：神戸学生青年センターホール

プログラム 10:30～12:00 議事

12:30～13:55 昼食と交流会

14:00 閉会

- ★議決権は一人一票です。全員出席届のハガキを郵送してください。欠席の方は必
ず委任状に記入をお願いします。総会成立のため必ず郵送してください。
- ★各グループからは1人以上出席をお願いします。
- ★信任投票用紙はありません。世話人の信・不信は議案の一つとして審議にかけま
す。
- ★総会資料は前もって全会員に配布します。目を通しておいてください。

事業部の販売もあります。マイバッグ、保冷バッグをお持ちください。

訃報

高丸グループ(神戸市垂水区)の佐津川寿子
さんが、3月20日お亡くなりになりました。

佐津川さんは、会員歴40年、事務局員と
しても会を支えてくださいました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

食料環境セミナー

「資本主義から農本主義者へ
- 農は天地の浮かぶ大きな舟なんだ -」

4月27日(水) 10:30～12:00

農と自然の研究所 元代表 宇根 豊さん

会場：神戸学生青年センターホール

参加費：600円

主催：公財 神戸学生青年センター